

第13期 事業・決算報告書

2023年4月 1日から
2024年3月31日まで

I. 事業報告		1ページ
II. 附属明細書（事業報告）		12ページ
III. 決算報告		
1. 財務諸表		
(1) 貸借対照表		13ページ
(2) 貸借対照表内訳表		15ページ
(3) 正味財産増減計算書		16ページ
(4) 正味財産増減計算書内訳表		20ページ
(5) 財務諸表に対する注記		23ページ
(6) 附属明細書		26ページ
(7) 財産目録		27ページ
2. 監査報告書		31ページ

第 13 期 事業報告 (2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

公益財団法人日本陸上競技連盟では陸上競技のさらなる発展のために、選手の競技力強化及び普及活動という二大事業を遂行するための組織基盤の確立を目指すとともに、相互の好循環を生み出すように各事業に取り組んだ。

主な諸事業は以下の通り。

1. 指導者養成及び陸上競技の普及に関する事業

(1) 指導者養成

- 1) 「指導者養成指針」に基づいた指導者養成及び指導者資格制度の整備
- 2) JAAF エducator (コーチ養成者) の養成と連携
- 3) 公認スポーツ指導者 (有資格者) の養成
- 4) 有資格指導者の管理と定期情報発信
- 5) コーチングクリニック (指導者資格の更新研修)

1) 「指導者養成指針」に基づいた指導者養成及び指導者資格制度の整備

「全ての指導者にコーチ資格取得を」の実現に向けて日本スポーツ協会 (JSPO) や加盟団体及び協力団体の『JAAF エducator』をはじめとする指導者養成担当者と相互理解を図りながら指導者養成に取り組んだ。特に今期は、都道府県における JAAF エducator 配置の初年度であったが、各地で開催される資格講習会において『講習の質』を担保しながら、有資格者の拡充が加速したといえる。

また、ランニングの指導者資格の新設に向けた検討を始めた。

2) JAAF エducator (コーチ養成者) の養成と連携

本連盟の指導者養成に対する考え方を理解した上で、地域の指導者を養成し、併せて指導体制作りを牽引する「JAAF エducator」の養成に注力した。今期は 2 回の養成講習会を実施し、2024 年度中に都道府県に 1 名以上が配置されている状況を目指した。それぞれ講習会の開催状況、JAAF エducator の配置状況は次の通りである。

《JAAF エducator 養成講習会》

①前期

期 日：2023 年 7 月 15 日 (土) ～7 月 16 日 (日)

会 場：味の素ナショナルトレーニングセンター

修了者：17 人

②後期

期 日：2024 年 2 月 17 日 (土) ～2 月 18 日 (日)

会 場：味の素ナショナルトレーニングセンター

修了者：23 人 ※日本陸連指導者養成委員などからの受講者 3 名含む。

2023 年度修了者 (合計)：40 人

《JAAF エducator 認定数》

※JAAF エducator 養成講習会を修了し、スタートコーチの運営と統括講師を経て適正があると認められたもの。

2024 年 3 月 31 日時点

認定者数：44 人

配置状況：27 都道府県 (設置率 61%)

3) 公認スポーツ指導者（有資格者）の養成

「JAAF 公認スタートコーチ（JSPO 陸上競技スタートコーチ）」、「JAAF 公認ジュニアコーチ（JSPO 公認陸上競技コーチ 1）」及び「JAAF 公認コーチ（JSPO 公認陸上競技コーチ 3）」の3カテゴリーで養成講習会を実施し、有資格者の拡充を図った。JSPO 公認陸上競技コーチ資格（スタートコーチ、コーチ 1～4）の保有者数は、2023 年 10 月 1 日付で 6,498 人と 2022 年から 939 人の増加であった。これらは、日本スポーツ協会の登録期（制度）の関係で、年に 2 度（4 月と 10 月）に新規登録がされる。その為、登録数に大きく影響を与えているのは 2022 年度（第 12 期）に養成した数が反映されている。

また、2023 年度の新規養成講習会の実施状況は次の通りである。

・JAAF 公認スタートコーチ養成講習会

開催会場数（開催都道府県数）：37 会場（28 都道府県） ※前年度比較 +18 会場（+14 道県）
修了者数：621 人 ※前年度比較 +196 人

・JAAF 公認ジュニアコーチ講習会

開催会場数（開催都道府県数）：29 会場（28 都道府県） ※前年度比較 +8 会場（+8 県）
※オンライン講習は陸連が主管し 8 会場で実施した。
修了者数：734 人 ※前年度比較 +102 人

・JAAF 公認コーチ養成講習会

①オンライン講習

ライブ講義：2023 年 7 月 23 日（日）
オンデマンド講義：2023 年 7 月 24 日（月）～9 月 22 日（金）
受講者：87 人

②集合講習 ※会場はすべて、味の素ナショナルトレーニングセンターで実施した。

A 会場：2023 年 10 月 28 日（土）～29 日（日） 受講者 26 人

B 会場：2023 年 12 月 16 日（土）～17 日（日） 受講者 41 人

C 会場：2024 年 1 月 6 日（土）～7 日（日） 受講者 22 人

専門科目修了者：88 人

過年度への持越し：8 人（オンラインのみ修了 5 名、未受講 3 名）

4) 有資格指導者の管理と定期情報発信

有資格指導者：6,498 人（2023 年 10 月現在）

有資格指導者への情報発信、資格更新研修の申請、資格失効者の復活登録申請等、有資格者のサポートを行った。

有資格者への情報発信は、メールマガジン『Coaching Info』の配信が 1 回、その他、本連盟から主催大会に関する案内や指導者向けのアンケート調査などを行った。

また、更新研修の実施回数や資格失効者の復活登録申請の状況は次の通り。

更新研修の開催数：40 会場（16 都道府県）

資格失効者の復活：14 人

5) コーチングクリニック（指導者資格の更新研修）

有資格指導者のレベルアップと資格更新研修、また、これから指導者や有資格者を目指す人材の育成の機会として、「第 30 回 JAAF コーチングクリニック」を開催した。

2023 年度は集合講習形式として 4 年ぶりに開催された。詳細については次の通りである。

開催日：2024 年 1 月 21 日（日）

会 場：味の素ナショナルトレーニングセンター
国立スポーツ科学センター室内実験場

概要：テーマ「指導に新たな視点を～仕組みを知って強くなる～」

講義 1…「見えているか 知っているか～視野を広く～」

講師：山本浩（日本陸連 指導者養成委員長）

講義 2…「臨床から見たアスリートの消化器官」

講師：瓜田純久（東邦大学医療センター 大森病院 院長）

講義 3…「意外と知らない、消化器の働きとパフォーマンス～陸上競技の大敵・おなかの悩みから」

講師：瓜田純久、市川良子（日本陸連 指導者養成委員）

コーディネーター：山本浩

講義 4…「WA Kids' Athletics の動向」

講師：森健一（日本陸連 指導者養成委員会 ディレクター）

講義 5…「世界に通じるハードリング技術」

講師：山崎一彦（順天堂大学 教授）

アシスタント講師：泉谷駿介（住友電工）

参加者：84 人(男 72 人、女 12 人)

(2) 日清食品カップ 全国小学生陸上競技交流大会

感染症による社会活動の制限が解除され、全国大会及び都道府県大会が開催された。
都道府県大会及び全国大会の実施状況は以下の通りである。

・日清食品カップ都道府県小学生陸上競技交流大会

今年度は、46 都道府県（悪天候による中止が 1 県）においてが開催された。都道府県大会の様子や全国交流大会実施種目に出場した全選手の記録を『My Record』として本連盟公式ウェブサイトに掲載した。

《My Record 掲載数》

(個人種目)

5 年 100m 4,928 人 (男：2,455 人、女：2,473 人)

6 年 100m 4,868 人 (男：2,529 人、女：2,339 人)

コンバインド A 1,562 人 (男：710 人、女：852 人)

コンバインド B 3,091 人 (男：1,809 人、女：1,282 人)

(小計) 14,449 人 (男：7,503 人、女：6,946 人)

男女混合 4x100mR 4,304 人 (1,076 チーム)

合計掲載数 18,753 人

・日清食品カップ 第 39 回全国小学生陸上競技交流大会

2023 年 9 月 16 日 (土)～9 月 18 日 (月・祝) の日程で日産スタジアムにおいて開催された。感染症による制限が解除され、選手・指導者の積極的な交流やフレンドシップパーティーにおいてゲストアスリートのデモンストレーションなど充実した大会となった。特に今回新たな試みとして、指導者交流会を開催し、多くの指導者へ小学生年代の指導に必要な情報の提供と他の地域の指導者との情報交換及び交流の場を設けた。

その他、大会の概要及び参加者（選手・指導者）など詳細は以下に示すとおりである。

《概要》

大会日程

9 月 16 日 (土) …集合、前日練習、指導者研修会、カップヌードルミュージアム見学

9 月 17 日 (日) …開会式、競技会、フレンドシップパーティー、指導者交流会

9 月 18 日 (月・祝) …解散

参加者：995 人 (選手 646 人、指導者 182 人、支援コーチ 167 人)

(3) 普及イベント

競技者育成指針に沿って、陸上競技の普及、特に子どもたちや子どもを取り巻くアントラージュへの普及を積極的に行う。

(1) や (2) の事業とあわせて、アスレティックファミリーの拡大に向け、子どもたち（キッズ）をターゲットにした「キッズデカスロンチャレンジ」を日本選手権やリレーフェスティバルとグランプリシリーズ G1 大会などで実施した。

感染症による社会活動の制限が解除されたこともあり、参加した子どもは気軽に楽しく陸上運動に接する機会を創出できたといえる。詳細については、以下の通りである。

《実施競技会と参加者数》

・キッズデカスロンチャレンジ

-織田幹雄記念国際陸上競技大会

会 場：エディオンスタジアム広島（広島）

期 日：2023 年 4 月 29 日（土）

種 目：1 種目（10m 走） ※雨天のため、1 種目限定実施

参加者：65 人

-静岡国際陸上競技大会

会 場：小笠山総合運動公園エコパスタジアム（静岡）

期 日：2023 年 5 月 3 日（水・祝）

種 目：1 種目（10m 走）

参加者：250 人

-木南道孝記念陸上競技大会

会 場：ヤンマースタジアム長居（大阪）

期 日：2023 年 5 月 6 日（土）～5 月 7 日（日）

種 目：6 種目

※体験教室形式で実施。

参加者：72 人

-セイコーゴールデングランプリ陸上

会 場：日産スタジアム（神奈川）

期 日：2023 年 5 月 21 日（日）

種 目：3 種目（10m 走、トリプルジャンプ、ターゲットスロー）

※Home Track Town Project とのコラボレーション

参加者：238 人

-日本陸上競技選手権大会

会 場：ヤンマースタジアム長居（大阪）

期 日：2023 年 6 月 3 日（土）～6 月 4 日（日）

種 目：3 種目（10m 走、トリプルジャンプ、ターゲットスロー）

参加者：501 人（1 日目：161 人、2 日目：350 人）

-日清食品カップ全国小学生陸上競技交流大会

会 場：日産スタジアム（神奈川）

期 日：2023 年 9 月 16 日（日）

種 目：3 種目（10m 走、トリプルジャンプ、ターゲットスロー）

参加者：291 人

-みんなでつながりリレーフェスティバル

会 場：国立競技場（東京）

期 日：2023 年 10 月 7 日（土）～10 月 8 日（日）

※10 月 7 日（土）は、強風により中止

種 目：3 種目（10m 走、トリプルジャンプ、ターゲットスロー）

参加者：323 人（2 日目のみ）

- ・ 目指せ、陸上スペシャリストへの道！～レジェンドたちによる子ども走り方教室～
 会 場：ALSOK ぐんまアリーナ（群馬）
 期 日：2023 年 11 月 23 日（木・祝）
 内 容：①50m のタイム計測
 ②科学の講義とアスリートによるレクチャー
 ③跳ぶ（クロスホッピング・トリプルジャンプ）、投げる（ターゲットスロー）
 参加者：51 人

2. 陸上競技の競技力の向上に関する事業並びに陸上競技の国際競技会等に対する代表参加者の選定及び派遣に関する事業

（1）選手強化

・ 強化方針

強化方針として、「複数年にわたって世界で活躍できる選手の育成、強化」を掲げており、それを最大化するための活動を推進してきた。今年度は、5 月にアジア選手権、8 月に世界選手権、10 月にアジア競技大会が開催される異例の年であり、強化委員会としては、それぞれの競技会の選手選考について、多くの時間を費やして議論し、編成方針と選考要項を策定していくこと、さらには現場の選手・コーチにもそれらが理解できるような取り組みを推進することが責務であった。以下にまず、それぞれの競技会の位置づけと結果について報告する。

最重要競技会は、ブダペスト 2023 世界選手権とした。ここでは、メダル・入賞を期待される競技者及び出場権獲得が有望視される競技者を中心に日本選手団を編成した。その結果、メダル 2（金 1、銅 1）と 9 つの入賞を獲得し、メダルテーブル 15 位、プレイングテーブルでは 11 位（37 ポイント）であった。前回のオレゴン 2022 世界選手権では、メダル 4、入賞 5、メダルテーブル 9 位、プレイングテーブル 11 位（40 ポイント）であり、メダルの数が減少した一方で、入賞数を倍増することによって、プレイングテーブルで同順位に到達した。また、メダル・入賞については、北口榛花（JAL）の女子やり投金メダルに代表されるように、これまでは考えられなかったような種目も含めて多岐にわたって入賞することができており（男子 100m、男子 110m ハードル、男子 3000m 障害物、男子走高跳、男子 4×100m リレー、男子 35 km 競歩、女子 5000m、女子 10000m、女子 35 km 競歩）、新たな次元で選手及びコーチが常識を覆していることが伺える。プレイングテーブルで世界トップ 8 に入っていくためには、50 ポイント以上の獲得が目標値になることから、本大会での入賞種目については、メダルを目指すとともに入賞数を 10 以上に引き上げていくことが必要になると考えている。

・ U16、U20 カテゴリー強化

U20 強化対策として、U20 アジア選手権（醴泉）、東アジアユースゲームズ（ウランバートル）や第 1 回開催となる東アジア U20 選手権（揚州）などの国際競技会に幅広い選手を派遣、また、7 月に U20 オリンピック育成競技者から選抜された 6 名の選手をフランスの U20 選手権に派遣することができた。また、U20 オリンピック育成競技者の指導者に対して、味の素ナショナルトレーニングセンターを使用し研修会を実施した。将来のオリンピック選手の育成のための強化・研修合宿を、国内及び海外にて実施した。

U16 カテゴリーでは、引き続き日本中学校体育連盟陸上競技部、全国高等学校体育連盟陸上競技専門部との連携を更に強めていく必要がある。U16/U18 陸上競技大会では、これまでに検討してきた競技会種目の設定や、年齢区分について、具体的な競技会を実施しており、参加者の特徴などの分析を進め、選手の育成に向けてより良い仕組みづくりを検討する。

・ ダイヤモンドアスリート

継続競技者として柳田大輝（東洋大）、佐藤圭汰（駒澤大）、西徹朗（早稲田大）、北田琉偉（日本体育大）、澤田結弥（浜松市立高）の 5 名及び新規認定競技者として永原颯磨（佐久長聖高）

からなる第10期ダイヤモンドアスリート6名を認定した。また、第9期をもってアツオビン・ジェイソン（福岡大）、藤原孝輝（東洋大）の2名を修了とした。今年度のリーダーシッププログラムでは、キャリア形成、スポーツ心理、メディア、栄養などの研修を実施し、各研修において、海外で活躍するために必要な考え方や姿勢、また海外で活躍するアスリートを支えるマネジメントに至るまで、より海外や国際人を意識した内容を取り入れた。東京マラソン財団のスポーツレガシー事業の支援によるダイヤモンドアスリートプログラムでは、引き続き、競技力向上だけに焦点を当てるのではなく、将来的にスポーツ界で活躍する人材の育成を図っている。

・ライフスキルトレーニングプログラム

本年度から本連盟が主体となり、日本や世界の頂点に挑み続ける陸上選手のパフォーマンス向上とキャリア自立を両立するライフスキルトレーニングプログラムを、第4期生、6名のアスリートを対象として実施した。選考委員による厳正なる審査により選ばれた「情熱の強さと努力を惜しまない」アスリート6名を第4期生として迎え、全4回のプログラムを実施した。

本プログラムに参加した競技者は着実に競技力も向上している。

（2）国際競技会への代表参加者選定及び派遣

強化方針に則り、以下の国際競技会に日本代表選手を計画的に派遣することが出来た。

- ・第25回アジア陸上競技選手権大会 (2023年5月 バンコク／タイ)
- ・第19回世界陸上競技選手権大会 (2023年8月 ブダペスト／ハンガリー)
- ・第19回アジア競技大会 (2023年10月 杭州／中国)
- ・第1回世界ロードランニング選手権大会 (2023年10月 リガ／ラトビア)
- ・第20回U20アジア陸上競技選手権大会 (2023年10月 醴泉／韓国)
- ・第11回アジア室内陸上競技選手権大会 (2024年2月 テヘラン／イラン)
- ・第19回世界室内陸上競技選手権大会 (2024年3月 グラスゴー／イギリス)
- ・第45回世界クロスカントリー選手権大会 (2024年3月 ベオグラード／セルビア)

（3）医科学サポート研究及び調査

1）医事

- ・2023年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症となったことに伴い、以前とほぼ同様のメディカルサポート体制を実施することが可能となった。日本選手権をはじめとする主要国内競技会に医事委員を派遣し、競技者のコンディションチェックのみならず、コーチなどともコミュニケーションを図った。
- ・バンコク 2023 アジア選手権、ブダペスト 2023 世界選手権、杭州アジア大会については下記に詳記する。
 - ① 帯同ドクター及び帯同トレーナーによる代表チームのメディカルサポートを実施した。代表決定後、多くの選手が最高のパフォーマンスを発揮出来るように準備を行った。各大会において帯同チームを編成した。
 - ② 代表選手使用のサプリメントについて、一つずつアンチ・ドーピングの立場より、帯同ドクター及び薬剤師（スポーツファーマシスト）が確認した。
 - ③ 国立スポーツ科学センター（JISS）におけるアジア大会代表選手のメディカルチェックを実施し、帯同ドクター及びトレーナーが強化合宿及びトレーニングに帯同した。
 - ④ 各大会において使用する医薬品は、処方箋を必要としないOTC医薬品を中心に準備した。処方薬のように十分な対応ができないこともあったが、それぞれの帯同ドクターが臨機応変に対応した。
- ・上記以外に、U20 アジア選手権と世界クロスカントリー選手権にもメディカルスタッフを派遣した。
- ・以前から実施しているメディカル質問箱を運用し、様々な領域の質問にウェブサイト上で回答し、陸上競技者が抱える問題の解決に努めた。

- ・高校駅伝における不適切な鉄剤注射に関する報道以降に実施している血液検査を引き続き実施した。このデータに基づいて、貧血と体格の関係に関する論文を医事委員会 田畑尚吾委員が執筆した (Tabata S, et al.: The Physician and Sportsmedicine, 1-9, 2023)。
- ・日本陸連が掲げる「国際競技力の向上」と「ウェルネス陸上の実現」のため、アスリートと、アスリートを取り巻くすべての人 (アスリートアントラージュ) に向けた取り組みが必要であると考え、科学委員会、医事委員会、アスリート委員会の3つの専門委員会が協力して Well-being プロジェクトを立ち上げた。その中で、これまで科学委員会や医事委員会において各々実施してきた調査データを元に、アスリートの健康を守るために大切な情報をまとめた冊子を作成した。発達発育期にあるアスリートの健康を守るため、その時期のアスリートのみならず、その指導者や保護者、関係者にとっても読みやすく分かりやすい内容とした。
※科学委員会、医事委員会、アスリート委員会を代表して本項に記載する。
- ・スポーツ栄養部では、U20 オリンピック育成競技者を対象とした栄養摂取状況に関する調査、U19 強化研修合宿宿舎調理長への栄養指示書の見直し、各種栄養セミナーの講師担当、国際競技会が開催される現地の食・水事情に関する情報提供リーフレットの作成などを行った。また、これまでに引き続き、栄養摂取のポイントやレシピ等について本連盟ウェブサイトや SNS を通して継続的に情報発信をした。

2) 科学

- ・2023 年度の科学委員会の活動は、種目毎に配置した科学委員会担当者と強化コーチとの連携のもと、ブダペスト 2023 世界選手権や今後の国際競技会へ向けた支援活動等を行うことが出来た。個別的、実践的なデータ収集と即時フィードバックに重点を置いた諸活動を各種目で展開するとともに、調査や活動成果の情報発信にも取り組み、諸活動の成果物として陸上競技研究紀要に 18 編の活動報告書及び陸上マガジンにも北海道インターハイでの分析結果を掲載した。
- ・日本スポーツ振興センター (JSC) における外部資金や外部協力者 (協力班員) を有効活用しながら、また国立スポーツ科学センター (JISS) とも連携し活動を展開することが出来た。
- ・各種目において、合計国内外の主要 18 競技会における映像撮影及び分析と結果の即時フィードバック、合宿等でのパフォーマンス分析結果の解説を行い、現状と課題の情報提供を行った。
- ・短距離では、競技会においては、4×100m リレー及び 4×400m リレー代表候補選手を対象として、個人種目における走速度やラップタイム、ピッチ、ストライドを、ハイスピードカメラを用いて撮影し分析し、競技会終了後に強化委員会へ即時フィードバックした。また、ブダペスト 2023 世界選手権直前合宿において、男子 4×100m リレー代表選手のトレーニング時の映像の撮影及びバトンパスの分析を実施した。世界選手権においては、短距離種目及びリレー種目に出場した選手を対象に、レース映像の撮影サポート及び分析の即時フィードバックを実施した。
- ・ブダペスト 2023 世界選手権に向けた暑さ対策支援等に関する活動として、千歳合宿時に競歩の代表選手、指導者及び関係者に向けた暑さ対策等の講義を実施するとともに、代表選手への個別相談、医科学サポート等を実施した。また、ブダペスト 2023 世界選手権や杭州アジア大会に向けた気象分析レポートを作成し、情報提供した。過去 10 年間の競技会場周辺の気象データを収集、整理するとともに、MiCATA (ミカタ) という気象予報システムを構築し、選手、スタッフがタイムリーに現地の気象予報を確認出来るよう専用気象サイトを提供した。
- ・パリ 2024 オリンピックマラソン代表選手に内定した 4 名の選手に対して、早期内定のアドバンテージを活かすべく現地コースの調査結果を共有するとともに、医科学サポートを開始した。
- ・競歩では過年度分を含む国内外競技会 2 次元動作分析データの蓄積に基づいて判定上の助言を強化スタッフ、トレーナーを交えて強化競技者に対して行った他、国内合宿において 2 次元分析による即日クイックフィードバックを行い、強化スタッフ、トレーナーとの協力・連携による歩型サポートを行なった。
- ・ジュニア競技者の運動経験、体調、食習慣、心身の状況等に関するアンケート調査を U19 全国合宿に参加した高校生及びブロック合宿 (東北、関東、北信越、近畿・東海、中国・四国、九州・沖縄ブロック) で実施した。合計対象者は延べ 1,958 名であった。そのうち 1,285 名から回答を得ることができた (回答率 65.6%) であった。

- ・2020年度以降のコロナ禍においては映像配信やオンライン（Zoom）形式での科学データ伝達に留まっていたが、本年度は全国4ブロック（北海道、東北、北信越、近畿・東海）で委員を派遣しての対面形式でスポーツ科学研修を行うことが出来た（関東、中四国はオンライン）。
- ・科学委員会バイオメカニクス研究活動報告会を「やり投におけるバイオメカニクスデータの活用」をテーマとしてオンライン（Zoom）形式で開催し、事前の参加申し込みが過去最多の200名（指導者、選手等）におよぶ等、大変好評であった。活動報告の情報発信にも取り組んだ。

（4）アンチ・ドーピング活動

- ・アンチ・ドーピング活動の推進として、本連盟主催及び後援等49の競技会において、尿検査、血液検査を実施した。そのうち35競技会へNFR（ナショナルフェデレーションリプレゼンタティブ）を派遣し、ドーピング検査が適正に行われているかどうかを確認した。
- ・日本選手権における血液検査では、開催地の医療機関の協力を得た。
- ・日本アンチ・ドーピング機構承認 Educator 制度が開始され、承認 Educator となった3名を中心として教育啓発活動を実施した。日本アンチ・ドーピング機構と連携したアンチ・ドーピング研修会や医事委員による研修会は主にオンラインで実施した。合宿や海外遠征中の選手やスタッフも研修会に参加することが出来、より多くの方にアンチ・ドーピングについて周知することが出来た。全国強化責任者会議やトレーナー研修会、指導者養成講習会においても医事委員会によるアンチ・ドーピング講習をオンラインで実施し教育啓発を行った。
- ・U19強化研修合宿では、アンチ・ドーピング啓発について動画を作成し、全国8ブロックでオンデマンド研修を実施した。
- ・日本陸連医事委員会オリジナルのアンチ・ドーピング教育啓発冊子である「クリーンアスリートをめざして2024」を作成した（2024年3月発行）。今後のアンチ・ドーピング活動において、本連盟の独自性を発揮する重要な資料の1つとなることが期待される。
- ・日本国内で活動する外国籍競技者のアンチ・ドーピング規則違反が複数発生し、対応と再発防止対策策定を実施した。
- ・競技会外検査における検査未了の防止対策として、登録検査対象者リスト競技者に対して居場所情報の適切な登録及び適宜変更に関する注意喚起を行った。

（5）トレーナー活動

- ・国内主要競技会にトレーナー部員を派遣し、競技会での救護活動及びトレーナーステーションの設置を行った。主要国際競技会に関してはブダペスト2023世界選手権に4名、バンコク2023アジア選手権に4名、杭州アジア大会に3名、ウランバートル東アジアユース選手権に1名、セルビア世界クロスカントリーに2名のトレーナー部員を派遣し選手サポートを実施した。
- ・新規の登録トレーナーを養成するトレーナーセミナーを昨年ひきつづき3月に対面にて開催した。
- ・トレーナー部員を対象に9月と1月にそれぞれ、第49回「陸上競技のパフォーマンスアップのためのトレーニング指導 理論編・実践編」、第50回「競技者に対するメンタルサポート」及び「体表解剖に基づく傷害評価～治療・処置における安全性確保～」をオンライン開催し、トレーナー部員のスキルアップ研修を実施した。受講者はそれぞれ107名と158名であった。また3月トレーナーセミナーと同時にテーピング基礎研修会を実施し、既存部員の研修を実施した。
- ・新しい取り組みとして、跳躍ブロックプロジェクトを立ち上げた。従来のコンディショニングやケアの枠にとらわれず、強化コーチを交えた競技者のトレーニングや動きの指導に積極的に関わろうとするもので、計28回ものトレーニングセッションを開催した。
- ・トレーナー部員が中心となって大会会場でコンディショニング相談や情報発信、調査等を実施するアウトリーチプログラムは、8月の北海道インターハイ会場及び10月のリレーフェスティバル会場での活動を行った。

3. 国際競技会、日本選手権大会及びその他の競技会の開催に関する事業

(1) 国内競技会の開催

- ・WA コンチネンタルツアーゴールドとして「セイコーゴールデングラプリ陸上 2023 横浜」を日産スタジアムで開催した。日本陸上競技選手権大会と U20 日本陸上競技選手権大会は 3 年連続で大阪府大阪市にて開催。U18/U16 陸上競技大会は愛媛県松山市で 3 年目の開催。日本陸上競技選手権大会・リレー競技は「みんなでつなごうリレーフェスティバル」と併催して国立競技場で 2 回目の開催。日本陸上競技選手権大会・35km 競歩は石川県輪島市、日本陸上競技選手権大会・混成競技は秋田県秋田市で 2 回目の開催、日本陸上競技選手権大会・10000m は 12 月に国立競技場、日本陸上競技選手権大会・20km 競歩は兵庫県神戸市にて開催した。また、パリ 2024 オリンピック選考競技会として、マラソングランドチャンピオンシップ(MGC)を 2019 年以来、2 回目の開催。皇后盃全国都道府県対抗女子駅伝競走大会及び天皇盃全国都道府県対抗男子駅伝競走大会も通常通りの開催となり、コロナ禍前の通常の開催となった。

(2) 登録会員

- ・「JAAF VISION 2017」に示したアスレティックファミリー拡大、また 2022 年に掲げた「JAAF REFORM ー中長期計画ー」での参加機会提供やファミリーサービスに向けて、今年度、登録システムをリニューアルした。本登録システムにより、団体や個人から登録申請を行い、登録料決済までの一連の流れがシステム化され、管理画面上で登録状況や進捗状況が随時確認できるようになった。当初課題や改善事項があったが、都度改修や見直しを図り、今後もより使いやすく分かりやすいシステムを目指す。
- ・また、今年度より小学生のカテゴリーを設定し、登録を受け付けた。
- ・登録会員数は 415,040 人で、前年度比+13,428 人(+3.3%)の微増であった。
- ・カテゴリー別の登録者を見ると、一般、高校、中学ともに大きな減少となっていた。一般の減少は、これまで一般のカテゴリーで登録していた小学生が別区分になったことも影響している。中高生に関しては、数年にわたり減少傾向であり、少子化、部活動の地域移行などの影響がでているものと考えられる。
- ・新システムでは団体管理者などの登録料を支払わない人にも ID を発行して管理できるようになった。ID を発行者した会員数は「548,484 人」となった。

〔登録会員の内訳〕

(人)

一 般	大 学	高 校	中 学	小学生	合 計
76,305 (-7,676)	19,500 (+583)	96,698 (-2,247)	193,597 (-6,172)	28,940 (+28,940)	415,040 (+13,428)

※登録人数（対前年比）

(3) 競技会の運営

- ・競技会の運営、記録の管理、審判員の資質向上のための方策及び競技規則の検討を行った。
- ・JRWWJ (Japan Race Walking Judges/日本陸連競歩審判員) 育成セミナーを開催し、試験に合格した 9 名を第 7 期 JRWWJ として認定した。また、WARWWJ (World Athletics Race Walking Judges/世界陸連競歩審判員) にも 2 名の JRWWJ が合格したことで計 4 名の国際競歩審判員が誕生し、国内の審判編成でワールドランキングコンペティション (WRk 対象競技会) 競歩大会の開催が可能となった。また、主要競歩大会のカテゴリー昇格も目指せるようになった。
- ・2024 年度に実施される WA レフェリー・ブロンズ試験に向け、各都道府県より推薦者を募った。
- ・記録の管理、簡素化に資するため、競技会で使用する記録用紙等の改訂を行った。

(4) 公認陸上競技場・公認長距離競走（歩）路・用器具の検定

- ・公認競技会等の運営が支障なく行われ、樹立された記録が十分信頼し得る陸上競技場、長距離競走（歩）路及び競技用器具とするための検定を実施し、その結果報告に基づき厳正な審査をした。

- ・WA 認証競技場の更新に伴う目視検査を実施し、WA に報告した。
- ・検定技術の向上と正確な検定を行うため、次期委嘱者を対象にした全国技術役員会議とブロック別に検定員・技術役員合同実技研修を実施した。また、検定業務を情報共有するため競技場施工会社、用器具製造会社の研修会を開催した。

4. その他の事業

(1) 機関誌等の発行

- ・陸連時報（陸上競技マガジン掲載）／毎月発行
- ・陸上競技ルールブック 2023
- ・陸上競技審判ハンドブック 2023-2024
- ・陸上競技研究紀要 VOL.19 2023

(2) 広報及び財政基盤の充実

- ・広報活動においては、「する人、見る人、支える人」それぞれを意識した広報を進めた。ブダペスト 2023 世界選手権や日本代表派遣競技会では、強化関係者とも連動し“チームカメラ”としてチーム JAPAN の舞台裏を本連盟から公式に届けたり、メディアと連動して日本代表の活動の裏側を伝えたりした。“支える人”に関してはさらに意識した発信を心掛け、専門誌での連載や大会ごとに積極的に SNS で投稿した。
- ・アスリートの安心安全を意識したプロジェクトでは、特設ウェブサイトを開示し、より多くの人に意識してもらう環境を作ることができた。
- ・「リレー（駅伝）ユニフォームのルール解釈」に関しては、選手や指導者、審判員の皆さんが現場で抱えている課題を委員会と連動して発信し、解決への一歩につながった。
- ・従来の取組を更に深めて、ファンに非日常を提供することを意識した。ファンとのコミュニケーションに力を入れる一年とした。ブダペスト 2023 世界選手権やパリ 2024 オリンピックマラソンの日本代表選手発表会見にファンを招待して、ハイタッチ、写真撮影、選手への質問など普段入ることができない場所で交流の機会を作った。参加者の子供からはお礼の手紙をもらうこともあった。アスレティックス・アワードでは、ファンが受賞者をハイタッチで見送る取り組みを実施できた。
- ・組織としての方向性や考え方をアスレティックファミリーや社会の方々へ伝えるべく、「ダイバーシティ&インクルージョンの推進」や「指導者育成」に関するコンテンツなど、内部での動きをオープンに発信することができた。
- ・財政基盤の充実について、2021 年度から始まった本連盟の登録料収益は、2.5 億円を保っており、本連盟収益の大きな柱となっている。
- ・2021 年に創設した「ジャパンマラソンチャンピオンシップ（JMC）シリーズ」は、加盟競技会から加盟料を徴収している。JMC シリーズは、大会の水準などにより最上位のグレード S（GS）からグレード 1（G1）、グレード 2（G2）、グレード 3（G3）までの 4 つのグレードに分かれており、グレードにより加盟金額を定めている。2023 年度は、マラソングランドチャンピオンシップ（MGC）ファイナルチャレンジ、パリ 2024 オリンピック競技大会のマラソン日本代表選手選考競技会として 5 競技会を最上位のグレード S（GS）競技会として開催し、加盟料は増収した。
- ・協賛金を除いた競技会の主な収益は、チケット売上、エントリー料である。チケット売上は前年度比減収になった。「心を動かす競技会」の開催を目指している。競技場に足を運んでもらう施策として、アスリート交流付きチケットを販売することで、アスレティックファミリーやこれまで陸上やアスリートに直接触れる機会が少ない方々との交流を図った。観客数を増やして収益に繋げるとともに、陸上の価値を創造する。
- ・「JAAF VISION 2017」及び「JAAF REFORM ー中長期計画ー」で掲げた理念実現のための具体的な事業戦略、及びパートナー企業との共創のための企画立案を行うとともに、マーケティング機能を強化する事業戦略チームを、外部専門人材を中心に編成し、立ち上げた。

(3) 組織文化や組織基盤の変革

- ・2019年6月10日にスポーツ庁より、スポーツ団体ガバナンスコード＜中央競技団体向け＞が発表され、2023年度も引き続き、13の原則からなるコードの遵守に向けて活動を行った。
毎年度義務付けられている、スポーツ団体ガバナンスコードの13の原則に対する43の審査項目の遵守状況の自己説明及び公表について、2023年10月に本連盟ウェブサイトにて行った。
- ・「人の多様性を認め、受け入れて活かすこと」を意味するダイバーシティ&インクルージョンを重視し、組織内におけるダイバーシティ&インクルージョンはもとより、国内を統轄・代表する団体として、日本陸上界を持続的に発展させていくための施策のすべてにおいて、ダイバーシティ&インクルージョンの精神を不可欠なものとして捉え、その推進に取り組み始めた。2023年6月に行われた2年毎の役員改選において、理事会の構成は、外部理事は26.7%（8名）、女性理事は43.3%（13名）の割合となった。
また、さまざまな場面でのダイバーシティ&インクルージョンの実現を目指して、関係者個々の知識や認識を深めるため研修活動を展開した。2023年度は、「陸上競技界のD&I（ダイバーシティ&インクルージョン）ー多様な性のあり方から考える」を初回、「組織における多様性の意義と「システム思考」アプローチ」を二回目の研修テーマとし、コンプライアンスへの理解がダイバーシティ&インクルージョンの実現と切り離せない関係性にあることから、より内部研修の充実を図るべく、2023年度末から実施してきたダイバーシティ&インクルージョン推進の研修と組み合わせ、「役職員向けコンプライアンス研修」を実施した。
- ・本連盟に発生するあらゆるリスクについて、総合型リスク管理の考え方のもとに、2023年から2026年までにかけてのリスク管理体制整備計画を発表した。3年計画の初期には本連盟固有の環境に則して優先順位をつけ、リスク管理体制を整備し、組織力向上のためのガバナンス強化と諸規程を整え、運用の浸透、定着、徹底を図る。次の段階では、本連盟で発生すると想定されるリスクについて、組織全体の視点から統合的、包括的、戦略的に把握及び評価、最適化し、時代の変化をとらえ、組織の価値最大化を図る。
- ・本連盟の喫緊の課題に取り組む「東京2025世界陸上プロジェクト」、「学校部活動の地域移行プロジェクト」、「公認競技場・競走路・競歩路プロジェクト」の3つの新規プロジェクトを立ち上げた。「東京2025世界陸上プロジェクト」では「世界陸上が一過性のイベントとならないための施策」及び「世界陸上を契機に陸上の人気や認知度を上げる」、「学校部活動の地域移行プロジェクト」では「中高生が陸上をする場所として最適（理想的）な環境を考える」、「公認競技場・競走路・競歩路プロジェクト」では「陸上競技場が必要とされる施設になる方法を検討する」ことをプロジェクトの目的として、取り組んでいる。

以上

第 13 期 事業報告 附属明細書
(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

第 13 期事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないので、附属明細書を作成しない。

以上

貸借対照表

2024年 3月31日現在

公益財団法人 日本陸上競技連盟

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	827,148,039	655,292,765	171,855,274
未 収 入 金	259,506,342	360,472,960	100,966,618
立 替 金	1,000	434,572	433,572
仮 払 金	27,186,810	13,023,217	14,163,593
前 払 金	0	220,000	220,000
前 払 費 用	10,022,977	13,563,662	3,540,685
貯 蔵 品	3,934,586	4,454,280	519,694
未 収 消 費 税 等	0	6,404,500	6,404,500
貸 倒 引 当 金	1,557,044	2,165,445	608,401
流動資産合計	1,126,242,710	1,051,700,511	74,542,199
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基 本 財 産 引 当 預 金	497,300,000	496,900,000	400,000
基 本 財 産 引 当 有 価 証 券	702,700,000	703,100,000	400,000
基本財産合計	1,200,000,000	1,200,000,000	0
(2) 特定資産			
退 職 給 付 引 当 預 金	136,477,469	143,085,582	6,608,113
国 際 競 技 会 開 催 引 当 預 金	349,000,000	1,234,000,000	885,000,000
特定資産合計	485,477,469	1,377,085,582	891,608,113
(3) その他固定資産			
建 物 付 属 設 備	29,350,457	34,721,324	5,370,867
什 器 備 品	9,360,402	14,138,464	4,778,062
差 入 保 証 金	10,458,000	10,458,000	0
ソ フ ト ウ ェ ア	7,142,501	57,772,501	50,630,000
その他固定資産合計	56,311,360	117,090,289	60,778,929
固定資産合計	1,741,788,829	2,694,175,871	952,387,042
資産合計	2,868,031,539	3,745,876,382	877,844,843
負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	163,156,333	130,573,350	32,582,983
預 り 金	4,789,673	1,895,103	2,894,570
仮 受 金	3,154,704	9,035,628	5,880,924
賞 与 引 当 金	18,928,150	20,910,271	1,982,121
未 払 消 費 税 等	20,225,400	0	20,225,400
流動負債合計	210,254,260	162,414,352	47,839,908
2. 固定負債			
退 職 給 付 引 当 金	136,477,469	143,085,582	6,608,113
固定負債合計	136,477,469	143,085,582	6,608,113
負債合計	346,731,729	305,499,934	41,231,795
正味財産の部			
1. 指定正味財産			

科 目	当年度	前年度	増 減
指定正味財産合計	0	0	0
2 . 一般正味財産	2,521,299,810	3,440,376,448	919,076,638
（うち基本財産への充当額）	(1,200,000,000)	(1,200,000,000)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(349,000,000)	(1,234,000,000)	(885,000,000)
正味財産合計	2,521,299,810	3,440,376,448	919,076,638
負債及び正味財産合計	2,868,031,539	3,745,876,382	877,844,843

貸借対照表内訳表

2024年 3月31日現在

公益財団法人 日本陸上競技連盟

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	795,619,992	31,528,047	0	827,148,039
現 金	0	521,307	0	521,307
普 通 預 金	795,619,992	31,006,740	0	826,626,732
未 収 入 金	259,478,146	28,196	0	259,506,342
立 替 金	1,000	0	0	1,000
仮 払 金	27,186,810	0	0	27,186,810
前 払 費 用	5,847,353	4,175,624	0	10,022,977
貯 蔵 品	3,934,586	0	0	3,934,586
法 人 会 計 勘 定 金	5,404,036	0	5,404,036	0
貸 倒 引 当 金	1,557,044	0	0	1,557,044
流動資産合計	1,085,106,807	35,731,867	5,404,036	1,126,242,710
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
基 本 財 産 引 当 預 金	248,650,000	248,650,000	0	497,300,000
基 本 財 産 引 当 有 価 証 券	351,350,000	351,350,000	0	702,700,000
基本財産合計	600,000,000	600,000,000	0	1,200,000,000
(2) 特定資産				
退 職 給 付 引 当 預 金	0	136,477,469	0	136,477,469
国 際 競 技 会 開 催 引 当 預 金	349,000,000	0	0	349,000,000
特定資産合計	349,000,000	136,477,469	0	485,477,469
(3) その他固定資産				
建 物 付 属 設 備	29,350,457	0	0	29,350,457
什 器 備 品	9,197,797	162,605	0	9,360,402
差 入 保 証 金	0	10,458,000	0	10,458,000
ソ フ ト ウ ェ ア	7,142,501	0	0	7,142,501
その他固定資産合計	45,690,755	10,620,605	0	56,311,360
固定資産合計	994,690,755	747,098,074	0	1,741,788,829
資産合計	2,079,797,562	782,829,941	5,404,036	2,868,031,539
負債の部				
1. 流動負債				
未 払 金	157,150,571	6,005,762	0	163,156,333
預 り 金	358,773	4,430,900	0	4,789,673
仮 受 金	2,959,258	195,446	0	3,154,704
賞 与 引 当 金	0	18,928,150	0	18,928,150
未 払 消 費 税 等	0	20,225,400	0	20,225,400
公 益 会 計 勘 定	0	5,404,036	5,404,036	0
流動負債合計	160,468,602	44,381,622	5,404,036	210,254,260
2. 固定負債				
退 職 給 付 引 当 金	0	136,477,469	0	136,477,469
固定負債合計	0	136,477,469	0	136,477,469
負債合計	160,468,602	180,859,091	5,404,036	346,731,729
正味財産の部				
1. 指定正味財産				
指定正味財産合計	0	0	0	0
2. 一般正味財産	1,919,328,960	601,970,850	0	2,521,299,810
(うち基本財産への充当額)	(600,000,000)	(600,000,000)	(0)	(1,200,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(349,000,000)	(0)	(0)	(349,000,000)
正味財産合計	1,919,328,960	601,970,850	0	2,521,299,810
負債及び正味財産合計	2,079,797,562	782,829,941	5,404,036	2,868,031,539

正味財産増減計算書

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

公益財団法人 日本陸上競技連盟

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収益	[8,071,955]	[5,487,338]	[2,584,617]
基本財産運用収益	8,071,955	5,487,338	2,584,617
登録料受入収益	[255,439,700]	[252,255,000]	[3,184,700]
登録料受入収益	255,439,700	0	255,439,700
一般連校学	0	83,981,000	83,981,000
学連校学	0	18,917,000	18,917,000
高学	0	49,472,500	49,472,500
中	0	99,884,500	99,884,500
加盟金受入収益	[4,700,000]	[4,700,000]	[0]
加盟金受入収益	4,700,000	4,700,000	0
受取寄付金	[17,497,000]	[10,556,000]	[6,941,000]
受取寄付金	17,497,000	10,556,000	6,941,000
受取委託金・助成金	[174,454,431]	[239,524,293]	[65,069,862]
J O C 受取委託金	112,572,431	111,557,275	1,015,156
スポーツ振興基金受取助成金	12,000,000	37,800,000	25,800,000
スポーツくじ受取助成金	49,882,000	40,328,000	9,554,000
ニッポン復活プロジェクト受取助成金	0	13,475,381	13,475,381
ターゲット育成受取助成金	0	36,363,637	36,363,637
事業収益	[1,308,771,891]	[1,165,098,122]	[143,673,769]
受取協賛金	925,435,560	777,187,503	148,248,057
広告料収益	209,091	209,091	0
参加料収益	60,262,167	56,303,585	3,958,582
入場料収益	78,010,251	91,154,817	13,144,566
プログラム売上収益	507,273	854,402	347,129
放送権料収益	50,000,000	51,500,000	1,500,000
受取助成金	(35,329,004)	(58,202,519)	(22,873,515)
受取助成金	35,329,004	58,202,519	22,873,515
販賦収益	(5,174,050)	(4,580,350)	(593,700)
審判員カード	1,973,000	1,843,000	130,000
審判員手帳	2,125,500	1,903,500	222,000
C 級カード	231,800	277,600	45,800
審判員バッジ	763,750	556,250	207,500
検定メジャー	80,000	0	80,000
肖像権料収益	600,000	450,000	150,000
認定料収益	137,000,000	105,000,000	32,000,000
その他の収益	(16,244,495)	(19,655,855)	(3,411,360)
(仮)その他の	10,480,257	6,510,788	3,969,469
その他の	5,764,238	13,145,067	7,380,829
その他の事業収益	[33,775,178]	[32,788,241]	[986,937]
器具検定料収益	(6,540,430)	(5,852,140)	(688,290)

科 目	当年度	前年度	増 減
器 具 検 定 料 収 益	6,540,430	5,852,140	688,290
競 技 場 公 認 料 収 益	(18,305,000)	(18,909,050)	(604,050)
競 技 場 公 認 料 益	18,305,000	18,909,050	604,050
後 援 名 義 使 用 料 収 益	5,070,000	3,810,000	1,260,000
印 税 収 益	1,607,173	1,805,693	198,520
販 売 手 数 料 収 益	252,575	411,358	158,783
陸 上 マ ガ ジ ン 編 集 料 収 益	2,000,000	2,000,000	0
雑 収 益	[9,832,711]	[6,324,429]	[3,508,282]
受 取 利 息	19,750	26,425	6,675
雑 収 益	9,812,961	6,298,004	3,514,957
経常収益計	1,812,542,866	1,716,733,423	95,809,443
(2) 経常費用			
事 業 費	[1,581,476,886]	[1,480,252,627]	[101,224,259]
給 与 ・ 手 当	173,109,496	166,773,124	6,336,372
賞 与	42,999,875	37,783,148	5,216,727
賞 与 引 当 金 繰 入 額	17,285,187	19,095,259	1,810,072
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	13,426,765	14,801,665	1,374,900
法 定 福 利 費	38,852,862	37,086,232	1,766,630
減 価 償 却 費	29,751,404	28,279,087	1,472,317
水 道 光 熱 費	1,076,141	1,172,488	96,347
旅 費 交 通 費	157,729,984	138,692,751	19,037,233
旅 費 交 通 費 (国 際)	175,348,850	126,174,989	49,173,861
諸 謝 金	15,246,012	15,272,990	26,978
諸 謝 金 (国 際)	3,187,790	1,740,000	1,447,790
通 信 費	(5,143,100)	(2,209,684)	(2,933,416)
電 話 料 金	100,007	32,440	67,567
郵 便 料 金	790,943	794,852	3,909
そ の 他	4,252,150	1,382,392	2,869,758
荷 造 配 達 費	4,603,157	5,113,586	510,429
印 刷 製 本 費	24,241,312	20,728,752	3,512,560
賃 借 料	107,492,084	128,373,336	20,881,252
損 害 保 険 料	9,023,016	6,534,696	2,488,320
会 議 費	907,288	169,821	737,467
交 際 費	1,105,366	926,401	178,965
支 払 手 数 料	(19,958,163)	(27,062,713)	(7,104,550)
銀 行 支 払 手 数 料	1,388,026	294,353	1,093,673
そ の 他	18,570,137	26,768,360	8,198,223
業 務 委 託 料	250,608,425	260,604,629	9,996,204
備 消 品 費	40,066,246	43,946,127	3,879,881
新 聞 図 書 費	2,025,508	3,234,494	1,208,986
租 税 公 課	1,275,900	2,022,747	746,847
大 学 補 助 金	200,000	200,000	0
中 学 補 助 金	4,000,000	4,000,000	0

科 目		当年度	前年度	増 減
地 域 支 援 金		28,600,000	29,400,000	800,000
強 化 費		(183,443,769)	(168,738,333)	(14,705,436)
旅 費 交 通 費		27,410,887	25,424,404	1,986,483
旅 費 交 通 費 (国 際)		37,112,248	38,243,756	1,131,508
諸 謝 金		3,004,591	1,589,358	1,415,233
諸 謝 金 (国 際)		818,628	1,560,860	742,232
通 信 費		267,443	73,775	193,668
荷 造 配 達 費		206,708	222,203	15,495
賃 借 料		3,578,604	8,097,966	4,519,362
交 際 費		20,874	317,484	296,610
支 払 手 数 料		289,862	1,499,790	1,209,928
業 務 委 託 料		7,689,940	18,245,522	10,555,582
備 消 品 費		485,405	110,459	374,946
雑 費		115,643	38,524	77,119
雑 費 (国 際)		10,959	68,960	58,001
強 化 費		90,310,150	62,790,726	27,519,424
報 奨 金		12,121,827	10,454,546	1,667,281
会 場 設 営 ・ 警 備 費		134,641,021	104,558,520	30,082,501
主 管 料		17,800,003	17,727,275	72,728
広 告 宣 伝 費		13,250,270	11,311,073	1,939,197
競 技 会 等 費 用 負 担 金		61,181,085	51,365,750	9,815,335
仕 入 商 品 代		(2,441,694)	(1,766,941)	(674,753)
審 判 員 カ ー ド		183,894	143,754	40,140
審 判 員 手 帳		1,512,344	1,154,335	358,009
C 級 カ ー ド		27,906	54,132	26,226
審 判 員 バ ッ ジ		641,550	414,720	226,830
検 定 メ ジ ャ ー		76,000	0	76,000
雑 費		944,618	1,418,728	474,110
雑 費 (国 際)		510,495	1,967,288	1,456,793
管 理 費		[130,442,618]	[121,522,348]	[8,920,270]
役 員 報 酬		17,801,400	16,800,000	1,001,400
給 与 ・ 手 当		16,454,122	15,851,847	602,275
賞 与		4,087,154	3,591,302	495,852
賞 与 引 当 金 繰 入 額		1,642,963	1,815,012	172,049
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額		1,276,219	1,406,904	130,685
法 定 福 利 費		3,692,979	3,525,060	167,919
福 利 厚 生 費		1,936,662	1,850,470	86,192
減 価 償 却 費		2,032,837	2,026,469	6,368
水 道 光 熱 費		102,288	111,445	9,157
旅 費 交 通 費		7,840,219	2,198,178	5,642,041
諸 謝 金		880,367	672,732	207,635
通 信 費		(8,508,436)	(8,004,690)	(503,746)
電 話 料 金		3,542,664	2,887,616	655,048

科 目	当年度	前年度	増 減
郵 便 料 金	1,045,261	1,067,928	22,667
そ の 他	3,920,511	4,049,146	128,635
荷 造 配 達 費	3,025,526	2,937,834	87,692
印 刷 製 本 費	30,800	700	30,100
賃 借 料	5,475,137	4,922,720	552,417
損 害 保 険 料	576,463	37,924	538,539
会 議 費	823,632	628,143	195,489
交 際 費	1,711,160	416,003	1,295,157
支 払 手 数 料	(17,968,463)	(20,191,834)	(2,223,371)
銀 行 支 払 手 数 料	1,263,162	1,131,422	131,740
派 遣 費	8,687,833	11,045,437	2,357,604
そ の 他	8,017,468	8,014,975	2,493
業 務 委 託 料	5,855,901	5,082,512	773,389
備 消 品 費	3,951,741	3,437,723	514,018
新 聞 図 書 費	65,796	52,910	12,886
租 税 公 課	12,800	7,800	5,000
教 育 研 修 費	337,304	249,237	88,067
加 盟 料	526,506	671,522	145,016
諸 会 費	150,453	62,333	88,120
雑 費	23,675,290	24,969,044	1,293,754
経常費用計	1,711,919,504	1,601,774,975	110,144,529
評価損益等調整前当期経常増減額	100,623,362	114,958,448	14,335,086
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	100,623,362	114,958,448	14,335,086
2 . 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
東 京 2 0 2 5 世 界 陸 上 財 団 拠 出 金	[990,600,000]	[0]	[990,600,000]
ソ フ ト ウ ェ ア 除 却 損	[29,100,000]	[0]	[29,100,000]
経常外費用計	1,019,700,000	0	1,019,700,000
当期経常外増減額	1,019,700,000	0	1,019,700,000
当期一般正味財産増減額	919,076,638	114,958,448	1,034,035,086
一般正味財産期首残高	3,440,376,448	3,325,418,000	114,958,448
一般正味財産期末残高	2,521,299,810	3,440,376,448	919,076,638
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
正味財産期末残高	2,521,299,810	3,440,376,448	919,076,638

正味財産増減計算書内訳表

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

公益財団法人 日本陸上競技連盟

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用収益	[4,035,978]	[4,035,977]	[0]	[8,071,955]
基本財産運用収益	4,035,978	4,035,977	0	8,071,955
登録料受入収益	[255,439,700]	[0]	[0]	[255,439,700]
登録料受入収益	255,439,700	0	0	255,439,700
加盟金受入収益	[4,700,000]	[0]	[0]	[4,700,000]
加盟金受入収益	4,700,000	0	0	4,700,000
受取寄付金	[17,497,000]	[0]	[0]	[17,497,000]
受取寄付金	17,497,000	0	0	17,497,000
受取委託金・助成金	[174,454,431]	[0]	[0]	[174,454,431]
J O C 受取委託金	112,572,431	0	0	112,572,431
スポーツ振興基金受取助成金	12,000,000	0	0	12,000,000
スポーツくじ受取助成金	49,882,000	0	0	49,882,000
事業収益	[1,182,373,738]	[126,398,153]	[0]	[1,308,771,891]
受取協賛金	799,037,407	126,398,153	0	925,435,560
広告料収益	209,091	0	0	209,091
参加料収益	60,262,167	0	0	60,262,167
入場料収益	78,010,251	0	0	78,010,251
プログラム売上収益	507,273	0	0	507,273
放送権料収益	50,000,000	0	0	50,000,000
受取助成金	(35,329,004)	(0)	(0)	(35,329,004)
受取助成金	35,329,004	0	0	35,329,004
販賦収益	(5,174,050)	(0)	(0)	(5,174,050)
審判員カード	1,973,000	0	0	1,973,000
審判員手帳	2,125,500	0	0	2,125,500
C 級カード	231,800	0	0	231,800
審判員バッジ	763,750	0	0	763,750
検定メジャー	80,000	0	0	80,000
肖像権料収益	600,000	0	0	600,000
認定料収益	137,000,000	0	0	137,000,000
その他の収益	(16,244,495)	(0)	(0)	(16,244,495)
(仮)その他の	10,480,257	0	0	10,480,257
その他の	5,764,238	0	0	5,764,238
その他の事業収益	[33,775,178]	[0]	[0]	[33,775,178]
器具検定料収益	(6,540,430)	(0)	(0)	(6,540,430)
器具検定料収益	6,540,430	0	0	6,540,430
競技場公認料収益	(18,305,000)	(0)	(0)	(18,305,000)
競技場公認料収益	18,305,000	0	0	18,305,000
後援名義使用料収益	5,070,000	0	0	5,070,000
印税収益	1,607,173	0	0	1,607,173
販売手数料収益	252,575	0	0	252,575
陸上マガジン編集料収益	2,000,000	0	0	2,000,000
雑収益	[9,824,223]	[8,488]	[0]	[9,832,711]
受取利息	17,762	1,988	0	19,750
雑収益	9,806,461	6,500	0	9,812,961
経常収益計	1,682,100,248	130,442,618	0	1,812,542,866
(2) 経常費用				
事業費	[1,581,476,886]	[0]	[0]	[1,581,476,886]
給与・手当	173,109,496	0	0	173,109,496
賞与	42,999,875	0	0	42,999,875
賞与引当金繰入額	17,285,187	0	0	17,285,187
退職給付引当金繰入額	13,426,765	0	0	13,426,765
法定福利費	38,852,862	0	0	38,852,862
減価償却費	29,751,404	0	0	29,751,404

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
水道光熱費	1,076,141	0	0	1,076,141
旅費交通費	157,729,984	0	0	157,729,984
旅費交通費（国際）	175,348,850	0	0	175,348,850
諸謝金	15,246,012	0	0	15,246,012
諸謝金（国際）	3,187,790	0	0	3,187,790
通信費	(5,143,100)	(0)	(0)	(5,143,100)
電話料金	100,007	0	0	100,007
郵便料金	790,943	0	0	790,943
その他	4,252,150	0	0	4,252,150
荷造配達費	4,603,157	0	0	4,603,157
印刷製本費	24,241,312	0	0	24,241,312
賃借料	107,492,084	0	0	107,492,084
損害保険料	9,023,016	0	0	9,023,016
会議費	907,288	0	0	907,288
交際費	1,105,366	0	0	1,105,366
支払手数料	(19,958,163)	(0)	(0)	(19,958,163)
銀行支払手数料	1,388,026	0	0	1,388,026
その他	18,570,137	0	0	18,570,137
業務委託料	250,608,425	0	0	250,608,425
備消費品費	40,066,246	0	0	40,066,246
新聞図書費	2,025,508	0	0	2,025,508
租税公課	1,275,900	0	0	1,275,900
大学補助金	200,000	0	0	200,000
中学補助金	4,000,000	0	0	4,000,000
地域支援金	28,600,000	0	0	28,600,000
強化費	(183,443,769)	(0)	(0)	(183,443,769)
旅費交通費	27,410,887	0	0	27,410,887
旅費交通費（国際）	37,112,248	0	0	37,112,248
諸謝金	3,004,591	0	0	3,004,591
諸謝金（国際）	818,628	0	0	818,628
通信費	267,443	0	0	267,443
荷造配達費	206,708	0	0	206,708
賃借料	3,578,604	0	0	3,578,604
交際費	20,874	0	0	20,874
支払手数料	289,862	0	0	289,862
業務委託料	7,689,940	0	0	7,689,940
備消費品費	485,405	0	0	485,405
雑費	115,643	0	0	115,643
雑費（国際）	10,959	0	0	10,959
強化費	90,310,150	0	0	90,310,150
報奨金	12,121,827	0	0	12,121,827
会場設営・警備費	134,641,021	0	0	134,641,021
主管料	17,800,003	0	0	17,800,003
広告宣伝費	13,250,270	0	0	13,250,270
競技会等費用負担金	61,181,085	0	0	61,181,085
仕入商品代	(2,441,694)	(0)	(0)	(2,441,694)
審判員カード	183,894	0	0	183,894
審判員手帳	1,512,344	0	0	1,512,344
C級カード	27,906	0	0	27,906
審判員バッジ	641,550	0	0	641,550
検定メジャ－	76,000	0	0	76,000
雑費	944,618	0	0	944,618
雑費（国際）	510,495	0	0	510,495
管理費	[0]	[130,442,618]	[0]	[130,442,618]
役員報酬	0	17,801,400	0	17,801,400
給与・手当	0	16,454,122	0	16,454,122

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
賞 与 引 当 金 繰 入 額	0	4,087,154	0	4,087,154
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	0	1,642,963	0	1,642,963
法 定 福 利 費	0	1,276,219	0	1,276,219
福 利 厚 生 費	0	3,692,979	0	3,692,979
減 価 償 却 費	0	1,936,662	0	1,936,662
水 道 光 熱 費	0	2,032,837	0	2,032,837
旅 費 交 通 費	0	102,288	0	102,288
諸 謝 金 費	0	7,840,219	0	7,840,219
通 信 費	(0)	880,367	0	880,367
電 話 料 金	0	(8,508,436)	(0)	(8,508,436)
郵 便 料 金	0	3,542,664	0	3,542,664
そ の 他	0	1,045,261	0	1,045,261
荷 造 配 達 費	0	3,920,511	0	3,920,511
印 刷 製 本 費	0	3,025,526	0	3,025,526
賃 借 料	0	30,800	0	30,800
損 害 保 険 料	0	5,475,137	0	5,475,137
会 議 費	0	576,463	0	576,463
交 際 費	0	823,632	0	823,632
支 払 手 数 料	0	1,711,160	0	1,711,160
銀 行 支 払 手 数 料	(0)	(17,968,463)	(0)	(17,968,463)
派 遣 費	0	1,263,162	0	1,263,162
そ の 他	0	8,687,833	0	8,687,833
業 務 委 託 料	0	8,017,468	0	8,017,468
備 消 品 費	0	5,855,901	0	5,855,901
新 聞 図 書 費	0	3,951,741	0	3,951,741
租 税 公 課	0	65,796	0	65,796
教 育 研 修 費	0	12,800	0	12,800
加 盟 料	0	337,304	0	337,304
諸 会 費	0	526,506	0	526,506
雑 費	0	150,453	0	150,453
	0	23,675,290	0	23,675,290
経常費用計	1,581,476,886	130,442,618	0	1,711,919,504
評価損益等調整前当期経常増減額	100,623,362	0	0	100,623,362
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	100,623,362	0	0	100,623,362
2 . 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
東 京 2 0 2 5 世 界 陸 上 財 団 抛 出 金	[990,600,000]	[0]	[0]	[990,600,000]
ソ フ ト ウ ェ ア 除 却 損	[29,100,000]	[0]	[0]	[29,100,000]
経常外費用計	1,019,700,000	0	0	1,019,700,000
当期経常外増減額	1,019,700,000	0	0	1,019,700,000
当期一般正味財産増減額	919,076,638	0	0	919,076,638
一般正味財産期首残高	2,838,405,598	601,970,850	0	3,440,376,448
一般正味財産期末残高	1,919,328,960	601,970,850	0	2,521,299,810
指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
正味財産期末残高	1,919,328,960	601,970,850	0	2,521,299,810

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 - ①満期保有目的の債券……償却原価法(定額法)によっている。
 - ②その他の有価証券
 - ・時価のあるもの……移動平均法による時価法によっている。
 - ・時価のないもの……移動平均法による原価法によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
 貯蔵品……最終仕入原価法によっている。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
 定額法によっている。
- (4) 引当金の計上基準
 - ①貸倒引当金…債権の貸倒による損失に備えるため、見込み額を計上している。
 - ②賞与引当金…職員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上している。
 - ③退職給付引当金…職員の退職金支給に備えるため、自己都合による期末要支給額の100%を計上している。
- (5) リース取引の処理方法
 リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
- (6) 消費税等の会計処理
 消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

2. 会計方針の変更

なし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産引当預金	496,900,000	400,000	0	497,300,000
基本財産引当有価証券	703,100,000	0	400,000	702,700,000
小 計	1,200,000,000	400,000	400,000	1,200,000,000
特定資産				
退職給付引当預金	143,085,582	0	6,608,113	136,477,469
国際競技会開催引当預金	1,234,000,000	115,000,000	1,000,000,000	349,000,000
小 計	1,377,085,582	115,000,000	1,006,608,113	485,477,469
合 計	2,577,085,582	115,400,000	1,007,008,113	1,685,477,469

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
基本財産引当預金	497,300,000	(0)	(497,300,000)	(0)
基本財産引当有価証券	702,700,000	(0)	(702,700,000)	(0)
小 計	1,200,000,000	(0)	(1,200,000,000)	(0)
特定資産				
退職給付引当預金	136,477,469	(0)	(0)	(136,477,469)
国際競技会開催引当預金	349,000,000	(0)	(349,000,000)	(0)
小 計	485,477,469	(0)	(349,000,000)	(136,477,469)
合 計	1,685,477,469	(0)	(1,549,000,000)	(136,477,469)

5. 担保に供している資産

なし

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	55,308,302	25,957,845	29,350,457
什器備品	38,457,606	29,097,204	9,360,402
ソフトウェア	40,041,178	32,898,677	7,142,501
合 計	133,807,086	87,953,726	45,853,360

7. 保証債務等の偶発債務

なし

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

銘 柄 等	帳簿価額	時 価	評価損益
第7回三井住友フィナンシャルグループ任意償還条項付永久劣後債	102,700,000	94,590,000	△ 8,110,000
東北電力第3回利払繰延・期限前償還条項付劣後債	200,000,000	205,840,000	5,840,000
モルガンスタンレーファイナンスLLCインデックス連動債	200,000,000	195,780,000	△ 4,220,000
第57回ソフトバンクグループ社債	200,000,000	197,020,000	△ 2,980,000
合 計	702,700,000	693,230,000	△ 9,470,000

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交 付 者	前期末 残 高	当 期 増加額	当 期 減少額	当期末 残 高	貸借対照表上 の記載区分
選手強化活動事業	日本オリンピック委員会	0	59,870,910	59,870,910	0	—
コーチ力強化事業	日本オリンピック委員会	0	5,113,637	5,113,637	0	—
次世代アスリート育成強化事業	日本オリンピック委員会	0	36,801,819	36,801,819	0	—
強化活動DX化推進支援事業	日本オリンピック委員会	0	383,637	383,637	0	—
日韓競技力向上スポーツ交流事業	日本オリンピック委員会	0	7,205,816	7,205,816	0	—
スポーツ国際展開基盤形成事業 「IF役員ポスト獲得支援事業」	日本オリンピック委員会	0	3,196,612	3,196,612	0	—
競技会開催競技力向上事業 第107回日本陸上競技選手権大会1000m	日本スポーツ振興センター	0	6,000,000	6,000,000	0	—
競技会開催競技力向上事業 第107回日本陸上競技選手権大会室内競技	日本スポーツ振興センター	0	6,000,000	6,000,000	0	—
発掘育成 U19強化研修合宿	日本スポーツ振興センター	0	28,954,000	28,954,000	0	—
スポーツ大会開催 リレーフェスティバル2023	日本スポーツ振興センター	0	16,000,000	16,000,000	0	—
ドーピング検査事業 ドーピング検査	日本スポーツ振興センター	0	2,228,000	2,228,000	0	—
ドーピング防止啓発活動事業 アンチドーピング教育	日本スポーツ振興センター	0	2,700,000	2,700,000	0	—
選手強化交付金 選手強化NF事業全般	日本オリンピック委員会	0	10,956,000	10,956,000	0	—
選手強化交付金 JOCオリンピック選手強化マーケティングプログラム	日本オリンピック委員会	0	388,004	388,004	0	—
科学・医学的研究事業助成金	ミスノスポーツ振興財団	0	4,000,000	4,000,000	0	—
国内競技会補助金 日本選手権	上月財団	0	1,000,000	1,000,000	0	—
Continental Tour Gold 開催補助金 セイコーゴールデングランプリ	World Athletics	0	9,399,000	9,399,000	0	—
国際スポーツ大会開催支援事業分担金 セイコーゴールデングランプリ	横浜市	0	5,000,000	5,000,000	0	—
開催地大会補助金 第107回日本選手権・混成	秋田県・秋田市	0	1,086,000	1,086,000	0	—
開催地負担金 U18U16陸上競技大会	愛媛県・松山市	0	2,000,000	2,000,000	0	—
神戸市スポーツ協会助成金 日本選手権20km競歩	兵庫陸上競技協会	0	1,500,000	1,500,000	0	—
合 計		0	209,783,435	209,783,435	0	

10. 関連当事者との取引の内容

なし

11. 重要な後発事象

なし

12. その他

なし

附 属 明 細 書

1. 基本財産および特定資産

基本財産および特定資産の明細については、財務諸表の注記において記載している。

2. 引当金の明細

引当金の当期の増減額および残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金	2,165,445	1,557,044	0	2,165,445	1,557,044
賞与引当金	20,910,271	18,928,150	20,910,271	0	18,928,150
退職給付引当金	143,085,582	14,702,984	21,311,097	0	136,477,469

財産目録

2024年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	合 計
(流動資産)	現金	手許保管	運転資金として	521,307
	普通預金	三菱ＵＦＪ銀行 渋谷支店	同上	826,626,732
			(現金預金計)	827,148,039
	未収入金		公益目的事業・協賛金・助成金他に関する未収入金	259,478,146
			法人会計に関する未収入金	28,196
			(未収入金計)	259,506,342
	立替金		公益目的事業・競技会運営等に関する立替金	1,000
	仮払金		公益目的事業・競技会運営等に関する仮払金	27,186,810
	前払費用		公益目的事業・保険料他に関する前払費用	5,847,353
			法人会計に関する前払費用	4,175,624
			(前払費用計)	10,022,977
	貯蔵品	審判員カード (5,315枚)	公益目的事業・審判員資格保有者に供する	207,285
		審判員バッジ (5,194個)	同上	1,090,740
		審判員手帳 (708個)	同上	143,299
		C級カード (3,153個)	同上	170,262
		検定メジャー (28個)	同上	2,128,000
		テープキャッチャー (65個)	同上	195,000
			(貯蔵品計)	3,934,586
貸倒引当金		未収入金等に対する貸倒引当金	△ 1,567,044	
流動資産合計				1,126,242,710
(固定資産) 基本財産	基本財産引当預金	(定期預金) 三菱ＵＦＪ銀行 渋谷支店	公益目的事業、法人の運営管理目的保有財産であり、基本財産の運用益のうち５０％を公益目的事業、５０％を法人の運営管理に使用している。	497,300,000
	基本財産引当有価証券	第7回三井住友フィナンシャルグループ 任意償還条項付永久劣後債	同上	102,700,000
		第57回ワトバンクグループ 社債	同上	200,000,000
		東北電力第3回利払繰延・期限前償還条項付劣後債	同上	200,000,000
		モルガンスタンレーフィナンシャルLLCインデックス連動債	同上	200,000,000
		(基本財産計)	1,200,000,000	
特定資産	国際競技会開催引当預金	(定期預金) 三菱ＵＦＪ銀行 渋谷支店	特定費用準備資金であり、国際競技会開催のために引当てている	349,000,000
	退職給付引当預金	(定期預金) 三菱ＵＦＪ銀行 渋谷支店	職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき引当てている	136,477,469
		(特定資産計)	485,477,469	
その他固定資産	建物付属設備	移転内装工事 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	共用財産であり、公益目的事業、法人の運営管理に使用している	12,967,848
		移転照明工事 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	1,890,215
		移転電源工事 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	1,388,685
		壁画アート内装工事 (エントランス) 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	1,033,338
		専有フロアB工事 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	12,070,371
			(建物付属設備計)	29,350,457
	什器備品	I A A F キッズアスレティック器具 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	公益目的事業に使用している	1
		ノートＰＣ (Surface) 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	1
		ノートＰＣ (Surface) 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	法人の運営管理に使用している	1
		ノートＰＣ (東芝ダイレクト) 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	1
		無線式光電管測定器1 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	公益目的事業に使用している	1
		ノートＰＣ (Surface) 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	法人の運営管理に使用している	1
		人工芝マット142.9㎡(かけっこイベント用) 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	公益目的事業に使用している	1
		コピー機 キヤノン iRC7580 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	共用財産であり、公益目的事業、法人の運営管理に使用している	1

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	合 計
		コピー機 コニカミノルタ C754e 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	共用財産であり、公益目的事業、法人の運営管理に使用している	1
		無線式光電管測定器2 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	公益目的事業に使用している	1
		ノートP C (Surface) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	1
		ノートP C (Surface laptop) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	1
		ノートP C (Surface laptop) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	1
		ノートP C (Surface laptop) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	1
		タブレット端末(iPadPro wifiモデル512GB)NTC 北区西が丘3-1 5-1 味の素ジョハ&トレーニングセンター	同上	1
		タブレット端末(iPadPro wifiモデル512GB)NTC 北区西が丘3-1 5-1 味の素ジョハ&トレーニングセンター	同上	1
		アイスバス(iCepot-Duo)NTC 北区西が丘3-1 5-1 味の素ジョハ&トレーニングセンター	同上	23,901
		サイネージディスプレイ横型2台(エントランス) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	共用財産であり、公益目的事業、法人の運営管理に使用している	12,338
		サイネージディスプレイ縦型1台/ケース(エントランス) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	28,904
		4面マルチスクリーン (会議室A) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	124,271
		液晶テレビ (会議室B) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	14,104
		液晶テレビ (会議室C) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	14,104
		液晶テレビ (会議室D) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	14,104
		液晶テレビ (フリースペース) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	18,904
		セキュリティカメラ (エントランス) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	6,538
		R型表彰台ベンチ (エントランス) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	147,450
		アークベンチ (エントランス) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	236,513
		カウンターテーブル (エントランス) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	633,338
		A V機器収納ラック (会議室A) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	47,504
		ホワイトボード (会議室A) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	5,694
		会長デスク (会長室) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	277,088
		応接テーブル/チェアー式 (会長室) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	1,022,242
		キャビネット (会長室) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	107,392
		ファミレスベンチ/テーブル式 (ミーティングスペース) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	964,846
		ハイカウンター/収納棚一式 (カフェスペース) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	984,638
		冷蔵庫 (カフェスペース) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	77,249
		R型ベンチ/収納棚一式 (フリースペース) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	692,713
		ソファー式 (フリースペース) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	264,221

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	合 計
		ローテーブル（フリースペース） 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	共用財産であり、公益目的事業、法人の運営管理に使用している	69,275
		窓側ラウンドテーブル（ワークスペース） 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	84,159
		職員用デスク一式（ワークスペース） 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	1,211,650
		専務局長用デスク一式（ワークスペース） 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	116,934
		職員用ロッカー一式（ワークスペース） 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	648,854
		スライドキャビネット一式（ワークスペース） 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	601,117
		金庫（ワークスペース） 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	348,307
		ハンガーラック（ストックスペース） 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	69,275
		パンフレットラック（エントランススペース） 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	126,671
		ノートＰＣ（Surface laptop） 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	公益目的事業に使用している	1
		ノートＰＣ（Surface laptop） 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	1
		ノートＰＣ（Surface laptop） 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	1
		ノートＰＣ（Surface laptop） 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	1
		ノートＰＣ（Surface laptop2） 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	1
		ノートＰＣ（Surface laptop2） 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	1
		唾液中マーカー測定器（科学委員会） 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	16,204
		会議室管理ユニットサイネージ①（会議室Ａ） 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	共用財産であり、公益目的事業、法人の運営管理に使用している	6,839
		会議室管理ユニットサイネージ②（会議室Ｂ） 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	6,836
		会議室管理ユニットサイネージ③（会議室Ｃ） 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	6,836
		会議室管理ユニットサイネージ④（会議室Ｄ） 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	6,836
		オフィスLANアクセスポイント機器本体 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	13,905
		ノートＰＣ（Surface laptop3①） 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	法人の運営管理に使用している	4
		ノートＰＣ（Surface laptop3②） 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	公益目的事業に使用している	9,627
		ノートＰＣ（Surface laptop3③） 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	9,628
		ノートＰＣ（Surface laptop3③） 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	18,862
		ノートＰＣ（Surface laptop3③） 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	30,494
		J A A F ロゴバナー 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	共用財産であり、公益目的事業、法人の運営管理に使用している	15,036
		ノートＰＣ（Surface laptop4） 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	法人の運営管理に使用している	59,479
		小学生陸上バナー 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	共用財産であり、公益目的事業、法人の運営管理に使用している	62,377
		ノートＰＣ（Surface laptop4） 新宿区霞ヶ丘町４－２ JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	法人の運営管理に使用している	103,119
			（什器備品計）	9,360,402

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	合 計
	差入保証金	JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 入居保証金 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	法人の運営管理に使用している (差入保証金計)	10,458,000 10,458,000
	ソフトウェア	登録システム（支払/データ取得機能追加） 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F JAAF PROTEINシステムSTEP1 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	公益目的事業に使用している 同上 (ソフトウェア計)	366,667 6,775,834 7,142,501
固定資産合計				1,741,788,829
資産合計				2,868,031,539
(流動負債)	未払金		公益目的事業に関する未払金 法人の運営管理に関する未払金 (未払金計)	157,150,571 6,005,762 163,156,333
	預り金		公益目的事業に関する預り金 法人の運営管理に関する預り金 (預り金計)	358,773 4,430,900 4,789,673
	仮受金		公益目的事業に関する仮受金 法人の運営管理に関する仮受金 (仮受金計)	2,959,258 195,446 3,154,704
	賞与引当金		職員の賞与に供する	18,928,150
	未払消費税等			20,225,400
流動負債合計				210,254,260
(固定負債)	退職給付引当金		職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき引当てている	136,477,469
固定負債合計				136,477,469
負債合計				346,731,729
正味財産				2,521,299,810

監査報告書

公益財団法人 日本陸上競技連盟

会 長 尾 縣 貢 殿

公益財団法人 日本陸上競技連盟

監 事 野 尻 久美

監 事 細 田 正典

監 事 吉 村 祐美子

私たち監事は、公益財団法人日本陸上競技連盟の2023年4月1日から2024年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その結果を次のとおり報告いたします。

1. 監査方法及びその内容

- (1) 計算書類及び財産目録の監査については、帳簿の閲覧、会計証憑の確認、決算書類の表示の検討等、必要と認められる手続きを実施しました。
- (2) 理事の職務並びに事業報告及びその附属明細書の監査については、理事会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧、その他必要と思われる監査手続きを実施して、理事の職務の遂行並びに事業報告及びその附属明細書の妥当性を検討しました。

2. 監査意見

- (1) 事業報告及びその附属明細書に関する監査結果
事業報告及びその附属明細書は、法令又は定款に従い当法人の状況を正しく示していると認めます。
- (2) 理事の職務の遂行に関する監査結果
当法人の理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 計算書類及び財産目録に関する監査結果
計算書類及び財産目録は当法人の財産及び正味財産の増減の状況をすべての重要な点において適正に表示していると認めます。

以 上